

関東制し全国大会へ

習志野シティFCクラブ選手権で

全国クラブチームサッカー選手権大会千葉県予選で優勝した習志野シティFCは9月19日から21日まで、群馬県で開かれた「第27回全国クラブチームサッカー選手権関東大会」に出場。3連戦というハードなスケジュールの中、見事に優勝を果たし、全国大会に進む。

関東大会には1都6県代表の7チームが参戦。初戦は山梨県代表のヤマセミクラブと対戦した。宮崎、高橋和(和輝)、浅野が得点し、3-0で前半を終了。後半も中野、長谷川、齋藤、釣巻、アンドレらがゴールし、10-0と快勝した。

次戦の準決勝は群馬県代表のFC群馬と対決。前半に1点を奪われて迎えた後半4分、高橋和のミドルシュートを岡本がかわしてゴールキーパーに触らせず、後半開始早々に追いつく。そして後半6分、高橋のフリーキックがゴールポストから跳ね返ったところへ黒須の強烈なシュートで逆転。アディショナルタイムには齋藤の得点で、3-1で勝利した。

決勝戦は埼玉県代表の杉戸クラブとの顔合わせとなった。優勝をかけた一戦、前半15分、ペナルティーエリア外からのフリーキック。高橋和のボールはゴールキーパーの頭上を破りゴールへ。点差を広げたい習志野は前半27分、ラインの裏に抜け出した齋藤がゴールキーパーに迫り、ペナルティーエリアに入ったところで、左側から走り込んできた黒須へパス。黒須が決めて2-0で前半を終了。そして後半25分、中央に入ってきたボールを黒須がポストプレーで落とし、落としたところに駆け込んできた高橋和が今大会5点目まで3-0。その後、スコアは動かさず、2分間のアディショナルタイム後、タイムアップ。関東を制した。

習志野シティFCとして初の全国大会は、10月24日から27日まで茨城県で開かれる。チームは「関東代表として、千葉県代表として、そして習志野市の代表として、全国タイトルを目指し、闘う」。



関東大会優勝の習志野シティFC(写真提供:習志野シティFC)

(習志野シティFC公式戦戦記から)

グループBで1位に 千葉県代表決定戦へ

習志野シティFCは「2020年度千葉県社会人サッカーリーグ1部」のグループBで全勝し、ブロンズ1位で「関東社会人サッカー大会」につながる「千葉県代表決定戦」への出場を決めた。

開幕2連勝の後、江戸川大学FC RISE、中央学院大学の社会人チームC GU・FC、日本製鉄君津サッカー部、Narita Unitedに勝利した。

千葉県社会人サッカーリーグ1部から関東リーグ昇格を争う「関東社会人サッカー大会」に進むための千葉県代表枠は2枠。グループA、グループBそれぞれの上位2チームによるトーナメント戦で決定。

宮本市長にオンラインで活動報告 習志野市との協働を SAKURA Tempesta



オンラインによる表敬訪問

千葉県工業大学津田沼キャンパスを拠点として、世界規模のロボット競技会「FIRST Robotics Competition」に出場する中学生を主体に構成されたチーム「SAKURA Tempesta」が8月17日、宮本市長にオンラインで活動報告を行った。

FRCは中学生を対象に、リーダーシップやコミュニケーション能力を育てることを目的に、ゲームでロボットの性能を競うだけでなく、資金調達などプロジェクトとして取組んだ製作過程も評価される。SAKURA Tempestaは3回出場。今年は予選大会、世界大会ともに中止となったが、チームの活動が評価され、前回に続きFRCで権威あるチェアマンズアワードを受賞した。海外メディアも関心を寄せているチームのメンバーは現在7校16人。活動を支援する指南役の「メンター」8人とともに順調に活動を継続し、日本での地区大会の開催を目指している。

活動報告では中山裕太さんが、活動資金のための企業訪問、千葉県工業大学の協力や部品のソフトの無償提供で応援する企業について説明。中川沙彩香さんは科学、技術、工学、数学などを中心に、ロボットやIT技術に触れて自分で学ぶ力を養うSTEM教育の理解を進めるため、内閣府男女共同参画局の「理士チャレンジ」の一環として行った「リコチャレ」ワークショップ開催や小学生向けの簡単なプログラミング教室への参加、ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんと対談などについて話した。

技術リーダーを務める立崎乃衣さんは、個人でフェイスシールドの作成を始めたが、現在はチームで運営・製作を行い、8月下旬までに約160の医療機関に、施設に1300個以上を届けている。7月にはチームで「安全プロトコル」を作成して、オフラインミーティングを開催。4か月ぶりでメンバーが会い、士気も高まったという。現在、FGCと呼ばれるFIRST主催のロボコンのオンラインピックや高校生の「TEAM Japan Award」に参加するために活動している。



交通安全の歌♪に手拍子

青葉幼稚園で交通安全教室

「秋の全国交通安全運動」を前にした9月17日、幼保連携型認定こども園・青葉幼稚園(津田沼3丁)

が園児たちに「自動車に気をつけて」と、道路横断時の交通ルールについて、わかりやすく説明した。

全国的に小学1、2年生に当たる7歳が、歩行中に交通事故に遭うケースが多く見られる。小学校に入

り、活動範囲が広がる一方、外歩きの経験や交通安全の知識が十分でないことが背景にあると考えられている。そのため千葉県警察では、入学前の幼児に対する交通安全教育に力を入れている。

交通安全教室では、5歳児を中心に、歩道を歩くか右端を歩くことの意味が図解され、横断歩道を渡る時は右、左、さらに右側をし

「交通安全の歌♪」をギターボリスさんが披露した。この歌は「習志野警察」が「電話de詐欺」撲滅の歌に次ぐオリジナルソングの第2弾。「電話de詐欺」撲滅の歌♪と同じ曲で、歌詞も引き続き奈良志乃さんが作った。

1番は「信号無視をしたのならなら! スピード違反をしたのならなら! あおり運転したのならなら! 事故が起きます 事故防止! ゆとり大切違反はノーの!」と歌詞には前作同様に「ならしの」が織り込まれている。軽快なリズムとメロディーに乗って、園児たちは合いの手の「なら」に声と手拍子を合わせた。

習志野警察「交通安全の歌♪」は、YouTube(ユーチューブ)【千葉県警察公式チャンネル】から視聴できる。QRコードは次の通り。

交通安全教室では、5歳児を中心に、歩道を歩くか右端を歩くことの意味が図解され、横断歩道を渡る時は右、左、さらに右側をし



「手を上げて車が止まったら渡りませ」(交通安全教室で)④、左から中央、藤本園長、ザ☆ギターボリスさん、西村署長

交通安全教室では、5歳児を中心に、歩道を歩くか右端を歩くことの意味が図解され、横断歩道を渡る時は右、左、さらに右側をし

交通安全教室では、5歳児を中心に、歩道を歩くか右端を歩くことの意味が図解され、横断歩道を渡る時は右、左、さらに右側をし

交通安全教室では、5歳児を中心に、歩道を歩くか右端を歩くことの意味が図解され、横断歩道を渡る時は右、左、さらに右側をし

交通安全教室では、5歳児を中心に、歩道を歩くか右端を歩くことの意味が図解され、横断歩道を渡る時は右、左、さらに右側をし

交通安全教室では、5歳児を中心に、歩道を歩くか右端を歩くことの意味が図解され、横断歩道を渡る時は右、左、さらに右側をし

